

伊谷純一郎 いごじゅんいちろう 霊長類学者、理學博士。大正十五年五月九日爲

取縣生れ（一九六一）。昭和二十六年京都大學理學部動物學科卒。日本

モンキーセンター研究員等を経て、京大教授、同大アフリカ地域研究
センター所長。

著書『ゴリラとピグミーの森』（昭和二十六年八月）『岩波書店』

「岩波新書」）、『チンパンジーの原野―野生の論理を求めて』（昭

和五十二年七月）『十五百平凡社』、『大冒険―トウルカナ日記』（昭

和五十七年十一月十五日新潮社「新潮選書」）等。

伊谷純一郎
チンパンジーの原野

アフリカの広漠たる原野にくりひろげられる自然と動物と人間の野生のドラマを、人類学者の鋭い観察眼でみごとに描きだし、人類の家族や社会のなりたちの謎に挑むサル研究20年の結晶。

平凡社 * 定価1000円 0045-527010-7600

人類の謎に挑む
平凡社